

平成 25 年度

事業報告及び決算書

自 平成 25 年 4 月 1 日

至 平成 26 年 3 月 31 日

公益財団法人いばらき文化振興財団

## 目 次

I 平成25年度公益財団法人いばらき文化振興財団事業報告	1 ~ 23
II 平成25年度公益財団法人いばらき文化振興財団決算	25 ~ 39

## I 事 業 報 告

総括的事項.....	1
1 法人運営事業.....	1
2 公益目的事業1(文化振興事業) .....	2 ~ 8
3 収益事業1(県民文化センター自主事業).....	9 ~ 10
4 公益目的事業2(水族館事業).....	11 ~ 22
5 収益事業2(水族館売店事業).....	23

## I 平成25年度事業報告

公益財団法人いばらき文化振興財団の設立趣意に則り、県民のニーズを反映し、魅力ある文化振興事業を行い、個性豊かな地域文化の創造を図るため次の事業を行った。

### 総括的事項

公益財団法人へ移行後初年度として「中期経営計画」に沿った運営に努めた。

- (1) 文化芸術に接する機会の提供については、クラシック音楽をはじめ、伝統芸能、バレエ・舞踊等69事業を行い、「参加体験」と「普及啓発」を目的とした事業の充実を図り、県民文化の振興に努めた。
- (2) 文化芸術に関する活動への助成については、自主的で個性的な文化活動団体等51件に対し財政的な支援を行い、地域における文化芸術の振興に努めた。
- (3) 茨城県立県民文化センターの運営については、県から指定管理者の指定を受け、施設利用の促進をはじめ、利用者サービスの向上と施設の適正管理に努めた結果、施設全体の利用率は83.4%の高水準を維持するとともに、入場者についても当初計画56万人に対し2万1千人増の58万1千人余の利用があった。
- (4) アクアワールド茨城県大洗水族館については、夏の特別イベント関連事業が好評であったことや、マスコミへの積極的な情報発信、展示の充実及び入場者のサービス向上に努めた結果、当初計画102万人に対し7万2千人増の109万2千人余の入場者を迎えた。水族館が本来持っている「展示」「普及」「研究」の3つの機能を相互に連動させ、魅力ある海の総合ミュージアムとしての効果的かつ円滑な展示を実施した。

### 1 法人運営事業

県から指定管理を受けた茨城県立県民文化センターの管理運営及び財団自ら運営するアクアワールド茨城県大洗水族館並びに利便施設としてのレストラン・売店・駐車場等の自主事業について、県及び各事業所と緊密な連携を図り、中期経営計画に基づいた事業の進行管理を実施した。

なお、平成24年度事業に係る茨城県監査委員による監査については、適正に処理されたものと認められ、また、県出資団体経営評価においても、「概ね良好」の評価を得た。

#### ア 理事会、評議員会、監事監査の開催

平成24年度事業報告及び収支決算、平成25年度収支補正予算、平成26年度事業計画及び収支予算等について審議するため、理事会、評議員会及び監事による監査を開催した。

名 称	開 催 日	内 容
監事監査	平成25年 5月13日	24年度事業報告及び収支決算等
平成25年度 第1回理事会	平成25年 5月16日	25年度収支予算、24年度収支決算等
平成25年度 定時評議員会	平成25年 6月 3日	24年度事業報告及び収支決算等
監事監査	平成25年 11月28日	25年度上半期事業報告及び収支決算等
平成25年度 第2回理事会	平成26年 3月25日	25年度収支補正予算、26年度収支予算等

#### イ 中期経営計画の進行管理

中期経営計画の進捗状況を検証した。

## ウ 職員研修の実施

職員の資質向上及び職務能率増進のため、次の研修を実施した。

### (研修実績)

区分	研修名	人数	備考
財団主催研修	新採研修	3	新規採用職員
公社等連絡協議会主催	一般研修	9	新採研修、第1部から第5部課程研修
	特別研修	20	会計職員研修、ライフルセミナー 個人情報漏洩研修等
危機管理研修		52	AED研修、救急研修
各種セミナー研修		132	職業生活設計セミナー、公益法人研修、 年金セミナー、社会保険委員研修等
計		216	

## エ 事務事業の効率化

公益法人会計システムの導入によるカスタマイズ等の推進をし、事務事業の効率化を図った。

## 2 公益目的事業1（文化振興事業）

### (1) 自主公演事業（主催公演21事業、共催公演19事業、計40事業）

#### ア 普及事業（8事業）

第39回茨城県新人演奏会を開催し、茨城県の有望な新人演奏家に、発表の機会を提供するとともに、本県音楽文化の向上に努めた。

また、県内の特別支援学校において「音楽出前講座」を開催したほか、笠間陶芸美術館等2会場で「公共スペースコンサート」を開催するなど、生演奏を身近に鑑賞できる機会を提供し音楽文化の普及に努めた。

その他、常陸大宮市文化センターにおいて、親子を対象に「親子で楽しむオペラ教室」を無料で開催し、プロの歌手と地元合唱団が共演する「歌のコーナー」や「泣いた赤おに」を題材にした、総合舞台芸術であるオペラの鑑賞機会を提供することで、地域住民に音楽や歌劇への関心を高めることができた。さらに、歌舞伎公演とオペラ公演に合わせて、講師を招き事前に演目等に関するレクチャーを行い、公演事業に対して理解を深めることができた。

#### イ 参加創造事業（7事業）

若手演奏家の演奏能力の向上を図る目的で、大洗水族館のアクアホールと県民文化センターのグリル・モンマルシェにおいてアットホームコンサートを実施したほか、県民文化センター小ホールでプロムナードコンサートを開催し、若手演奏家にホールでの発表の機会の提供をし、育成に努めた。

#### ウ 鑑賞事業（25事業）

「モスクワ・フィルハーモニー交響楽団＆清塚信也」や「華麗なるクラッシックバレエ・ハイライト」等、海外の優れた舞台芸術に接する機会を提供したほか、日本

の伝統芸能に接する機会の提供として「松竹大歌舞伎」公演を開催した。

また、ひたちなか市文化会館を会場に「宝塚歌劇月組公演」を会館との共催公演として開催したことで市町村文化会館との連携強化が図れた。なお、主催公演のほか「辻井伸行日本ツアー2013/14」や「葉加瀬太郎コンサート」等19事業の共催公演を行い県民の様々なニーズに対応した文化芸術の振興に努めた。

(公演実績)

区分	ジャンル等	実施日	公演名	会場	回数	入場者数 (単位:人)
主催公演	講座	7月26日(金)	歌舞伎をより楽しむ会	県文小ホール	1	160
		10月9日(休)	オペラをより楽しむ会	県文集会室10号	1	150
	舞台芸術鑑賞	8月17日(土)	親子で楽しむオペラ教室	常陸大宮市文化センター	1	437
	新進演奏家育成	9月8日(日)	第39回茨城県新人演奏会	県文大ホール	1	749
	アウトリーチ	6月28日(金)	音楽出前講座	特別支援学校2校	3	315
		10月8日(火)				
		11月13日(木)	公共スペースコンサート	茨城県陶芸美術館等会場	3	410
		12月8日(日)				
	新進演奏家育成 参加創造	6月22日(土)	プロムナードコンサートVol.7	県文小ホール	1	288
		2月11日(火・祝)	プロムナードコンサートVol.8	県文小ホール	1	283
		8月15日(木)		大洗水族館		
		11月29日(金)~ 12月25日(木)	アットホームコンサート	県文グリル	6	400
共催公演	オーケストラ	6月19日(木)	モスクワ・フィルハーモニー交響楽団&清家信也	県文大ホール	1	803
	ミュージカル・演劇	11月21日(木)	宝塚歌劇月組全国ツアー公演 「JIN」「Fantastic Energy」	ひたちなか市文化会館	2	2,637
	歌舞伎	7月26日(金)	松竹大歌舞伎	県文大ホール	2	2,098
	バレエ	7月20日(土)	華麗なるクラシックバレエ・ハイライト	県文大ホール	1	800
	落語	1月18日(土)	新春 笑ホール寄席	県文小ホール	2	498
	映画	1月13日(月・祝)	シネマ鑑賞会	県文小ホール	1	377
	声楽・器楽室内楽等	6月5日(水)	辻井伸行日本ツアー2012/13	県文大ホール	1	1,505
		10月16日(木)	葉加瀬太郎コンサート	県文大ホール	1	1,174
		2月28日(金)	TSUKEMEN LIVE 2013	県文大ホール	1	919
	ニューミュージック ・歌等	5月18日(土)	アリストコンサート	県文大ホール	1	1,438
		6月1日(土)	フォークシンガーといっしょに歌おう、あの歌をもう一度!	県文大ホール	1	279
		6月3日(月)	さだまさしコンサート	県文大ホール	1	1,472
		6月16日(日)	平原綾香コンサート	県文大ホール	1	1,467
		7月25日(木)	郷ひろみコンサート	県文大ホール	1	1,458
		9月29日(日)	前川清&クール・ファイブ・コンサート2013	県文大ホール	1	2,062
		3月1日(土)	財津和夫コンサート	県文大ホール	1	1,318

区分	ジャンル等	実施日	公演名	会場	回数	入場者数 (単位:人)
共 催 公 演	ミュージカル・演 劇・舞踊等	3月9日(日)	横原敬之コンサート	県文大ホール	1	1,438
		4月7日(日)	しまじろうコンサート	県文大ホール	2	3,013
		5月19日(日)	劇団四季ミュージカル「桃次郎の冒険」	県文大ホール	1	675
	落語・漫才漫談	10月30日(木)	ベスト・タンゴ!カルロスルフィ樂團	県文大ホール	1	269
		8月31日(土)	立川談春 独演会	県文小ホール	1	460
		11月2日(土)	綾小路きみまろ爆笑スーパーライブ	県文大ホール	1	1,514
		12月1日(日)	週末よしもと水戸お笑いまつり	県文大ホール	1	1,476
	落語	2月9日(日)	三枝改メ六代桂文枝襲名披露公演	県文大ホール	1	1,320
	その他	6月23日(日)	糸村でんじろうサイエンスショー	県文大ホール	2	2,941
計40事業(主催21事業、共催19事業)						36,721

## (2) 受託公演事業 (4事業)

### ア いばらき文化芸術創造・発信事業

音楽を学ぶ高校生を対象に、水戸室内管弦楽団メンバーによる公開レッスンを水戸芸術館及び県民文化センターで実施した。公開レッスンにおいては生徒達に第一線で活躍する演奏家から直接指導が受けられる貴重な機会を提供することができたことで演奏技術の向上と音楽文化の振興を図ることができた。

また、チェコを代表するプラハ国立歌劇場によるオペラ「魔笛」を上演し、海外の優れた舞台芸術を低料金で鑑賞する機会を提供するとともに、本県の文化芸術の振興に寄与した。

また、心の復興を図るため、本県出身の歌手クリコさんと地元児童合唱団がオーケストラをバックに歌うコンサートを無料で開催し、コンサートを通して震災からの復興をアピールすることができた。

### イ 文化的担い手育成事業 (25事業)

茨城県新人演奏会出演者や県内で活躍している演奏家などをはじめとした登録アーティスト等による音楽出前講座(20校)及び、公共スペースコンサート(5会場)を開催し、児童生徒や地域住民に音楽に接する機会を提供することで本県音楽文化の普及に努めた。

### (公演実績)

区分	ジャンル等	実施日	公演名	会場	回数	総入場者 (単位:人)
発化 信芸ば	声楽・器楽室 内学等	11月15日(金)	クリコConcert	県文大ホール	1	1,305
	オペラ	10月9日(木)	プラハ国立歌劇場オペラ「魔笛」	県文大ホール	1	1,206
業創さ 成	新進演奏家養 成	6月22日(土)	水戸室内管弦楽団メンバーによる公開レッスン (弦楽)	水戸芸術館	1	323

区分	ジャンル等	実施日	公演名	会場	回数	総入場者(単位:人)
		10月19日(土)	水戸室内管弦楽団メンバーによる公開レッスン (吹奏楽)	県文太ホール	1	513
教育 成の 事担 難い	アウトリーチ	6月4日(火)~ 11月28日(木)	音楽出前講座	県内小中学校 20校	26	5,284
		10月20日(日)~ 3月2日(日)	公共スペースコンサート	茨城県庁舎など 約5会場	7	1,005
計29事業						9,636

### (3) 財團振興積立金事業

県民文化センター及び大洗水族館を運営する当財団について、広く県民に周知を図るため、様々な広報媒体及びイベントをとおしてPRを図った。

媒体及びイベント	実施時期	内 容
県広報誌「ひばり」(下一段)	8月号掲載	県民文化センター情報及び公演情報、大洗水族館イベント情報
新聞広告(全3段)	12月上旬	
「茨城を食べよう。収穫祭」 (会場:笠間芸術の森)	11/2~11/3	楽器作り体験及び移動水族館の展示、チラシ等の配布

### (4) 文化芸術活動への助成

県内各地で行われている自主的で個性的な文化活動を行う団体等に対して助成を行うことにより、県民の文化活動への自主的な参加を促進し、地域における文化芸術の振興に努めた。

#### 【文化活動団体等事業】

県内各地における県民の自主的・個性的な文化活動を行った団体又は個人に対して助成金を交付し、財政的な支援を行った。

#### (助成実績)

申請件数	交付決定件数	助成件数	助成額(円)
59	53	51	18,932,000

(助成団体から取下げ2件)

### (5) 市町村文化施設及び地元演奏家への支援事業

本県内の公立文化施設で構成する茨城県公立文化施設協議会の会長館として、会員の会館との相互情報交換をはじめ、職員研修の実施や技術的支援と連携を図り、地元音楽家や文化団体の育成・支援を行った。

- ・ 茨城県公立文化施設協議会

会員館 34館

事業内容 総会ほか各研修会など年4回開催

文化活動団体等への後援 9件

## (6) 県民文化センター管理運営事業

### [指定管理事業]

東日本大震災の影響で休館していた大ホールは、昨年度、平成24年9月1日から一般利用を再開した。

本年度は、その影響が大ホールを中心に10%程度残る見込みでスタートしたが、上期こそ予約等に影響が見られ利用人員が落ち込んだものの、下期になるとほぼ影響が見られなくなるほどの回復を見せた。

平成25年度施設全体の利用者数は約582千人、施設利用料収入は約102,000千円となり、東日本大震災前の状況に戻りつつある状況となった。

また、開館から48年が経過し、施設の老朽化が見られるようになり、緊急的な修繕箇所が多くなったことから、中期の修繕計画の策定及び見直しを行い、施設の長寿命化を図るとともに利用者が安全・安心で快適に施設を利用できるよう努める。

#### ア 施設の利用促進及びサービスの向上

##### [施設利用状況]

( ) は前年度実績

区分	利用日数(日)	回数(回)	利用者数(人)	利用率
大ホール	249(130)	621(318)	233,564(134,125)	81.9(66.7)
小ホール	263(234)	600(527)	73,779(62,184)	87.7(79.1)
本館集会室	349(348)	3,935(3,823)	101,249(81,029)	99.1(97.2)
分館集会室	335(332)	1,861(1,879)	41,458(41,918)	95.2(92.7)
和室(本館)	237(246)	420(390)	4,169(3,836)	67.3(68.7)
一般展示室	284(281)	883(813)	67,653(59,163)	83.5(78.5)
県民ギャラリー	230(235)	230(235)	59,648(54,233)	68.9(65.6)
計	1,947(1,806)	8,550(7,985)	581,520(436,488)	83.4(78.4)

\* 利用率とは、利用可能日に対する利用日数の割合。

- 施設利用料徴収状況(H23年度から利用料金制度導入)
- 施設利用料収入額 101,733,068円 (前年度 83,888,513円)  
(内訳) 施設使用料 67,223,018円 (前年度 59,635,733円)  
付属施設使用料 34,510,050円 (〃 24,252,780円)

##### ・施設の状況

東日本大震災以降、初めて4月1日より全施設が通常利用

小ホール音響工事(平成25年12月1日～平成26年1月10日まで休館)

#### (ア) 割引制度の導入

閑散期の利用促進を図るため、1月限定で大ホール、小ホール、展示室、県民ギャラリーの施設利用料50%割引を実施した。

ホームページを中心に周知を努めた結果、目標数値を達成した。

\*H25年度割引制度結果

区分	人数(人)	利用率 (%)
H25計画	16,380	45
H25実績	16,697	58
増減	317	13

(イ) 新規利用団体への誘客及びリピーターの確保

- ・毎月、催し物ご案内を12,000部作成し、水戸市内をはじめ関係各団体等へ配布し利用促進に努めた。
- ・常に最新情報を提供できるようホームページの更新に努めた。3月に全面リニューアルを実施し、利用者が見やすく分かりやすいデザインとしたことで、更に利便性を高めることができた。
- ・県内企業等訪問及び県外にはダイレクトメールを発送し、新規及びリピーターの確保に努めた。
- ・茨城県公立文化施設協議会の運営等、関係各団体と連携し情報交換及び情報収集に努め、水戸市外からの誘客促進を図った。

(ウ) サービスの向上

- ・集会室でインターネットが利用できるよう整備を進め、今年度は電源整備等が完了した。(本格利用は平成26年度予定)
- ・会場受付及び公演チケット販売時間を毎日午後7時まで延長したことや、会場申し込み書及び施設図面をホームページからダウンロードできるよう整備したことにより、利用者の利便性を高めた。
- ・満足度調査(アンケート調査)を毎月実施し、利用者の要望等を分析し、迅速な改善に努めた。

(エ) イルミネーション事業

冬の風物詩として定着したイルミネーション事業は、各マスコミに取り上げられたこともあり、週末になると1,000人を超える見学者(催しでの見学者を除く)が訪れるようになり大いに賑わいを見せた。

- ・実施期間：平成25年11月15日(金)～平成25年12月25日(水)  
(41日間)
- ・点灯時間：午後5時～午後10時まで
- ・タイトル：第13回茨城県立県民文化センターイルミネーション  
～ひかりのハーモニー2013～
- ・見学者数 延べ 31,633人(前年度43日20,148人)
- ・仕様：LED電球約68,000球、クリスマス向き装飾(オブジェ増設)
- ・イルミネーションコンサート(2回)  
実施日：平成25年11月29日、平成25年12月21日  
実施場所：県民文化センターグリル「モンマルシェ」  
内容：ヴァイオリンとピアノ及びアルパとピアノ  
来場者：118人(2回合計)

(オ) 県民文化センター友の会の運営

県民文化センター友の会の運営を通して、催し物への利用促進を図り、公演チケットの売上げ増等に努めた。

・会員数 2,244人(平成26年3月31日現在)

・友の会だより発行部数 32,400部

イ 安全・安心で快適な施設づくり

東日本大震災から復旧後の施設の老朽化を防ぎ、長寿命化を図るため、修繕計画を策定し、その実行に努めた。

(ア) 施設整備計画の策定と実行

施設の老朽化対策工事として、県工事と文化センターの工事に分け施設の修繕計画を策定し実施した。

・バリアフリー化計画

障害者専用駐車場を催し物に合わせて臨時に増設し、予め電話で予約が出来るようになるとともに、車椅子を常備し更新を行うとともに、スムーズな移動が出来るようにし、障害者の方の利便性を図った。

・日常点検の徹底を基本に、その際発見した緊急性の高い修繕箇所は、速やかに修繕を行った。

・県備品としては、小ホールにピアノヤマハS6Bが納品された他4件が整備された。このピアノについては最良の状態に保つために弾き込みを行い、利用者に快適に使用してもらえるよう努めた。

・園路樹木等管理は、適切な伐採と剪定を繰返し行い、枯れ枝等の落下事故等が発生しないよう努めた。

(イ) 危機管理対策

・年2回の避難訓練では、火災発生の他、ガス漏れを想定した訓練を東部ガス、水戸市消防署と合同で実施し連携を深めた。また、AEDの研修会を開催し、全職員が操作方法の取得に努める等危機管理意識の高揚を図った。

・水戸地方に大型台風が接近した際には、利用者及び施設の安全確保のため、情報収集及び情報提供に努め、土嚢を積む等の対応をした。

(ウ) 修繕工事

施設の老朽化に伴い、県との協議のうえ単年度計画及び中期修繕計画を策定し、修繕工事を実施した。

・指定管理部門修繕工事

集会室1・2号室に新規でエアコンを設置する他、65箇所の修繕工事を実施し、利用者への不具合解消に努めた。

件数	金額(円)
66	24,743,835

・ 県工事

県工事は、小ホール音響設備工事の2期目の他2件を実施した。

件数	金額(円)
3	54,012,000

3 収益事業1（県民文化センター自主事業）

(1) グリル・売店の運営

グリル「モンマルシェ」については、本年度から通年営業となったことから、収支バランスを考慮し健全経営に努めた。

ア グリル・売店の運営

多くの利用者が快適に利用できるよう利用促進に努めるとともに、営業日及び営業時間を見直す等改善に努めた。

「メニューの改善」

- 季節に適した新規メニューの開発に取り組む等、メニューの改善に努めた。特に、県主催「常陸国風土記1300年記念事業」に合わせ発売した「風土記御膳」では、土日祝祭日及び数量限定であったことから人気に拍車がかかり、毎回売り切れとなつた。

風土記御膳：平成25年10月1日～平成25年12月1日まで

(土日祝祭日、数量限定1日約20食)

- 催し物の内容に合わせたランチメニューを提供し、利用率のアップに努めるとともに売上増を図った。
- コストを意識したメニューに取り組み売上増に努めた。
- 工夫を凝らした自家製弁当の売上促進に努めた。
- 各種パーティーメニューを考案し勧誘に努めた。

イ サービスの提供

利用者が快適に食事できるようサービスの提供に努めた。

- 接客マナーを向上させるため積極的に研修会に参加した。
- 壁面に絵画を飾り、季節に合わせてホールにピアノを設置するなど、ゆとりのある快適空間を提供した。
- グリルをコンサート会場として使用する企画では、音楽と食事の時間を提供し好評を得た。
- 通年、駐車場有料利用者に対して、コーヒー無料券を配布しサービスの提供に努めた。
- 夜間の催し物に合わせて営業時間を延長し、サービスの提供及び売上増に努めた。

ウ 収支決算(単位:円)

( ) 内は前年度

区分	決算額	差額
飲食料収入	40,491,248 ( 19,208,864)	21,282,384
売店収入	21,126,282 ( 15,681,312)	5,444,970

区分	決算額	差額
諸収入	2,854,604 ( 2,572,481)	282,123
収入計	64,472,134 ( 37,462,657)	27,009,477
支出計	66,338,431 ( 52,939,112)	13,399,319
増減額	△1,866,297 (△15,476,455)	13,610,158

( ) 内は前年度

グリル利用者(人)	38, 657 (21, 106)
売店利用者(人)	40, 433 (32, 847)

## (2) 駐車場の運営

茨城県から管理許可を受けた千波公園・県民文化センター前駐車場を利用者が安全かつ円滑に利用できるよう管理運営に努めた。

### ア 事故及びトラブルの防止

- ・ 満車予定の催し物開催日には警備員を増員するとともに、臨時駐車場として水戸市消防学校跡地を借り上げ、利用者がトラブル等なく安全に利用できるよう努めた。

### 臨時増員結果

日数(日)	延べ時間数(時間)	延べ人数(人)	金額(円)
184	3, 629	813	6,859,755

### 臨時駐車場借上結果（主催者による借上は除く）

回数(回)	金額(円)
39	1,460,120

### イ 計画的な施設整備

駐車場バリアフリー工事(県工事)の第一期工事により一部改修されたが、今後も引き続き実施されることから、利用者への周知に努めるとともに安全確保に努めた。

### ウ 利用計画

#### 収支決算(単位：円)

収入	29,924,275
支出	26,044,276
増減額	3,879,999

#### (利用実績)

区分	利用台数(台)	徴収金額(円)
全額徴収	46,959	18,909,800
1/4免除	30,769	9,391,425
1/2免除	7,966	1,623,050
全額免除	66,131	0
合計	151,825	29,924,275

#### 4 公益目的事業2（水族館事業）

アクアワールド茨城県大洗水族館は、基本テーマである「茨城の海と自然・世界の海と地球環境」に沿って、地域の自然と世界の水生生物の生態環境を通し、生物の多様性や自然環境・地球環境について、楽しみながら学ぶという教育と娛樂性を兼ね備えた施設として中期経営計画に基づいた運営を行った。

このため、水族館が本来持っている「展示」「普及」「研究」の3つの機能を相互に連動させ、魅力ある海の総合ミュージアムとしての効果的かつ円滑な展示を実施した。

さらに、栃木県をはじめとする北関東自動車道沿線での各種キャンペーンの実施、夏の特別イベント開催や新聞・テレビ等メディアへ「元気で魅力ある水族館」として積極的な情報発信に努めるとともに、NHK番組や視聴率の高い民放人気番組に取り上げられることにより広報効果が上がり、昨年度より25日早く「年間100万人」を達成した。

- 入場者数内訳

有料入場者

(単位 人)

区分	大人	小中	幼児	合計
一般	406,357	54,035	45,796	506,188
団体等	238,669	87,717	59,561	385,947
年間パスポート	8,544	1,548	2,997	13,089
年パス2回目以降	35,175	5,103	13,962	54,240
計	688,745	148,403	122,316	959,464
前年度	629,900	140,424	114,635	884,959

無料入場者 133,373人(前年度 135,513人) 総入場者 1,092,837人(前年度 1,020,472人)

無料内訳

3歳未満 89,837人、招待券 25,598人、整理券 11,636人、こどもの日 5,612人

県民の日幼児 690人

(単位：円)

公益事業収入	1,348,208,332
支出	1,317,477,687
増減額	30,730,645

##### (1) 施設管理運営事業

###### ア 管理運営

- 施設の適正な管理に努めるとともに、入場者に対するホスピタリティの精神を養い接遇の向上を目的として、職員及びアテンダント等を対象として、事業所の研修を行ったほか、個人情報保護に関するセミナーやパワーハラスマント防止セミナーなどコンプライアンス遵守研修を加えて実施した。
- 入場者の安全確保及び迅速な避難誘導を行えるよう、通常実施している消防訓練の他に地震による津波を想定した避難訓練や不審者対策としての防犯訓練のほか、AED及び救命救急講習、エレベーター緊急時の応急処置研修を実施し、危機管理に努めた。

- ・ 福島第一原子力発電所事故による風評被害払拭のため、放射線測定器により継続して毎日放射線量を測定のうえ、その結果をホームページに掲載することにより安全性のアピールに努めた。また、原発事故風評被害の補償請求として東京電力（株）に賠償金請求を行い、平成24年4月から平成25年3月までの賠償金として約8千9百万円が支払われた。
- ・ 加盟団体である公益社団法人日本動物園水族館協会の「平成25年度第2回関東東北ブロック園館長会議」を担当館として、2月17日～18日に県民文化センター一分館等を会場に開催し、38園館49名の参加があった。
- ・ ゴールデンウィーク及びお盆期間の繁忙期における駐車場混雑緩和対策として、大洗港第4埠頭を臨時駐車場として借用し無料のシャトルバス運行を行った。さらに、お盆期間には、隣接する大洗公園駐車場の一部を借用し、周辺道路の渋滞緩和と入場者へのサービス向上に努めた。

#### イ テナント関連事業

マーケットプレイスの連絡会議の事業としてお盆時期や正月などに催しを行うとともに、水族館とタイアップして新聞広告を掲載するなど積極的な広報により周知度アップを図り利用促進に努めた。

フードコートでは、階段の中央に手摺を追加設置するなど安全対策を図るとともに、テーブル・椅子の補修により環境整備を推進した。さらに、フードコート中央の円形テーブルを4人掛けの長テーブルに変更することにより座席数を増やし、スペースの有効活用を図りサービスの向上に努めた。また、季節の飾り付けなどで賑わいのある演出を行い、地元産品の販売と地域の活性化に寄与した。

#### ウ 施設整備

- ・ 修繕計画を基本に各種修繕工事を実施したほか、台風等の被害による突発的な修繕に対応するなど安全対策に努めたほか、館内トイレの洋式化及びウォシュレット化を推進し、快適な環境の提供により利便性とサービスの向上に努めた。
- ・ 省エネルギー推進委員会を毎月開催し、職員の節電意識の徹底やLEDへの変換など設備での対策に努めた。さらに、引き続きガラス面フィルムの張替を実施し、美観の向上に努めるとともに、遮光フィルムを導入することなどにより省エネルギー対策を実施し、電気量の削減を図った。
- ・ オーシャンゾーンの手摺及び壁面の補修を実施し、美観の向上及び安全面の確保に努めた。また、地震による津波に備え、水族館海側シャッター等の3箇所について鉄扉への交換工事を実施し安全対策を図った。

また、ブライン不凍液を使用する各水槽の熱交換機を交換し、故障防止に努めた。

### (2) 飼育・展示事業、調査研究事業

#### ア 魚類展示

魚類飼育関連施設・設備の適切な管理運用のもとで、飼育生物の健康管理と安定した飼育環境作りに努めた。基本テーマに沿った生物の収集活動とともに生物展示の充実や新規生物の開発により、広報誘客につながる情報発信を積極的に行い、話題性の提供に

努めた。

館内外の展示においては各種解説プログラム推進のほか、季節毎イベントや連携施設への水槽出展、移動水族館等への生物展示を実施して誘客PRに努めた。また、茨城県水産試験場と事業連携協力協定を締結し、調査船による捕獲生物を展示に反映させた。

#### (ア) 展示生物収集

- ・ 日立市会瀬定置網において、14回の乗船収集を含み延べ32回の生物輸送を実施。マンボウ・キアンコウ等53種653点を収集搬入のうえ、出会いの海ほかの各水槽にて展示生物の充実を図った。
- ・ 活魚業者や漁業関係者よりメガネモチノウオ等の収集を125件実施し、143種21、918点を搬入。世界の海ほかの各水槽にて展示生物の充実を図った。また、地元漁業者よりケショウフグ等の収集を36件実施し、41種2、631点を搬入。大洗の海ほかの各水槽にて展示生物の充実を図った。
- ・ 他水族館等との生物交換では男鹿水族館・名古屋港水族館など43件実施し、トクビレ等50種1、308点を搬入、サンゴトラザメ等44種4、637点を搬出した。
- ・ 自家採集による生物収集では涸沼川等においてボラ等の採集を48件実施し、38種9、245点を収集した。

#### (イ) 生物展示の充実

- ・ 長期飼育が困難なマトウダイを5月から試験展示し、前年は10日程度であった飼育期間が、10ヶ月を超える長期飼育展示に成功した。
- ・ サメ類の幼魚展示水槽2槽を増設し、繁殖賞を受賞したシマネコザメの育成状態をリアルタイムで観察できる展示を6月より開始した。
- ・ クラゲギャラリーコーナでは国内初の試みとして、不老不死のクラゲで知られるベニクラゲとヤワラクラゲの2種同時展示を9月より開始した。
- ・ 茨城県初記録となった貴重なケショウフグの展示を9月から開始した。
- ・ イカ類の展示としてはヤリイカ等の3種について行い、うちアオリイカは10月から展示開始後6ヶ月の長期飼育と水槽内産卵にも成功して人気を集めた。
- ・ 水槽内で産卵したミズダコの孵化に成功し、親ダコとともに赤ちゃんミズダコの展示を1月から行い、その可愛らしい姿を目当てに来館するお客様も多く好評を得た。
- ・ 日本では2館のみ展示している貴重なイモリザメは、3月31日現在で飼育日数が4、415日に達し、12年以上の長期飼育記録を更新中である。
- ・ 夏の特別展示「ウルトラアクアワールド」・春の企画展「カニマニア王国」において、それぞれアメリカンロブスター等3種60点、タカアシガニ等50種50点を展示し、来館意欲を促すとともにに入館者より大きな反響を得た。

#### (ウ) 広報資料提供

- ・ マスコミへの展示生物情報として、ミズダコ産卵・アカウミガメ卵保護仔ガメ放流等12本をリリースし、新聞やTV等で計63本記事紹介された。
- ・ 読売新聞に毎週連載の「いきもの日記」において、展示生物の紹介原稿を投稿し、年度内で計44本の記事掲載を行った。

- ・ H P 上の生物情報として、新着生物ニュースの更新ほか、スタッフブログ・フェイスブック・ツイッター等の S N S 情報発信に努めた。

(エ) 生物の繁殖育成

- ・ 当館の目玉生物であるサメ類の繁殖では、サンゴトラザメ・シマネコザメ・ネコザメ・バリキヤットシャーク・アラビアンカーペットシャーク・イズハナトラザメなど 11 種 255 点の繁殖に成功した。
- ・ イヌザメ等、今年度までに日本動物園水族館協会より受賞した「繁殖賞プレート」全 7 種 7 枚を、専用ケースにて展示公表した。

(オ) 調査・研究

- ・ 茨城県に来遊するサメ類の調査研究では、アオザメ等 4 種 14 点を資料収集し、各部計測後に顎骨等の内部形態の記録を収集した。
- ・ シマネコザメの繁殖が日本初記録として日本動物園水族館協会から「繁殖賞」を受賞し、育成個体を生体展示した。また、同様に繁殖育成研究に取り組んでいたアラビアンカーペットシャークの繁殖にも成功したため、繁殖賞の申請を行った。
- ・ 河原子海岸にて 6 月に保護したアカウミガメ産出卵の人工孵化に取り組み、保護 126 卵のうち 79 個体の孵化に成功し、6 回に分けて産卵海岸より仔ガメを放流した。
- ・ 茨城県沿岸におけるクラゲ類の季節的消長の調査研究では、目視採集調査を 10 回実施し、カブトクラゲ等 4 種 530 点の資料収集とともに生態展示に反映させた。
- ・ 茨城県沖の深海生物の調査研究では、県水産試験場調査船の協力によりミドリフサアンコウ等 23 種 422 点の資料収集とともに生態展示に反映させた。

(カ) 学術発表

- ・ 日本動物園水族館協会 第 58 回水族館技術者研究会にて「シマネコザメの繁殖について」を口頭発表。
- ・ 日本動物園水族館協会 平成 25 年度関東東北ブロック水族館技術者研究会にて「大洗マリーナ港内におけるウミウシ類調査について」を口頭発表。
- ・ ZOOLOGICAL SCIENCE 30(2013) 誌にて「クラカケザメ科サメ類における鰓の形態と喚水機能」を共同研究による投稿発表。
- ・ 第 38 回日本比較内分泌学会大会にて「サメの発生過程における体液調節機構」を共同研究による口頭発表。

(キ) 展示解説等

水中対話ショー「アクアウォッチング」は季節毎の館内イベント時に特別バージョンを開発実施したほか、「シャークウォッチング」でのサメの生態解説やマンボウの給餌解説、出会いの海大水槽にて飼育員による給餌解説を実施した。

また、館内及びバックヤードの解説案内を希望する団体等に対して、生物管理の仕組みや飼育現場での実体験談など飼育員ならではの情報を交えて解説を実施した。

(ク) ミュージアムパーク茨城県自然博物館水系展示水槽管理委託事業

県自然博物館の水系展示水槽の管理について、展示魚類の入手及び調査収集によりカジカ等81種714点の生態展示に加え、水質管理や設備管理により水系展示水槽の適切な維持管理業務を行った。

また、博物館主催の企画展「ぎょ・魚・漁」等、計3回の水槽展示の水生生物管理とともに「サイエンスデー」等において、観覧者に対するレクチャーを実施した。さらにバックヤードでの給餌解説や職場体験学習を実施したほか、標本資料の保管や博物館の定期刊行誌に寄稿するなど、博物館との連携協力に努めた。新規事業としては、「教員のための博物館の日」において水系展示の生物解説案内を行った。

#### イ 海獣展示

展示については、イルカ・アシカオーシャンライブ出演各個体のレベルアップを図るとともに、季節ごとに内容を更新し、展示の充実及び話題提供により誘客に努めた。

また、前年度に引き続きオキゴンドウがカリフォルニアアシカを背に乗せたままプールを周泳する、コラボレーションパフォーマンス「愛のランデバー」を公開した。今年度は、特にその進化形である、アシカがボールバランスをしながら行う形を積極的に公開し、さらなる魅力を打ち出すことに成功した。例年同様サービス面を考慮し、繁忙期にはライブ回数を増加し対応した。

繁殖事業については、フンボルトペンギンが5個体、エトピリカが5個体孵化し、うちペンギン3個体、エトピリカ4個体が順調に成長している。

調査研究については、茨城県沿岸にストランディングした生物の調査、研究や保護を関係団体と協力して実施した。

##### (ア) 展示の充実

- ・ イルカ・アシカオーシャンライブは、お客様に水しぶきがかかる迫力のイルカのジャンプや複数頭で出演しコミカルな演技を披露するアシカの組み合わせを基本とし展開した。ショーの内容は、夏休み特別企画「ウルトラアクアワールド」やハロウィン、クリスマスなど季節毎に実施するイベントとタイアップしたのと合わせて、トレーナーや各生物個体の組み合わせで変化を付け、いつ見ても新鮮なショープログラムを提供した。
- ・ 1年間のオーシャンライブ観覧者は791,242名あり、水族館入館者(有料無料計1,092,837名)の72.4%であった。
- ・ ペンギンについては、屋外オーシャンゾーンのペンギン水槽～カリフォルニアアシカ水槽前通路で「ペンギンのお散歩」を昨年に引き続き11月1日から5月6日まで実施した。階段の昇り降り、ハードル跳びに加えて、新たな障害物としてシーソーに代わりスロープを導入して好評を得た。
- ・ カピバラについては、昨年に引き続き冬季に「カピバラ銭湯」を2月末日まで公開した。新たに製作した「岩風呂」の雰囲気を漂わせる銭湯にゆっくりとつかる愛らしい姿は好評を得た。

##### (イ) 生物繁殖事業の推進

鰐脚類は、雄アシカ「ナツ」が、雌アシカの8月には「プリン」、9月には「ココ」との腹部エコー検査により2個体のアシカとも妊娠を確認した。

エトピリカについては、9個の産卵が確認されうち5卵が孵化し、4個体が順調に成長している。

フンボルトペンギンについては、3個体が順調に成長している。

#### (ウ) 調査・研究活動の推進

ストランディングについては、12件の調査を実施し、各種データの収集に努めた。

1月20日には銚子市犬吠埼海岸で雌のキタオットセイを保護し、体力の回復を待って2月6日に茨城県水産試験場の協力を得て東海村約22km沖合で放棄した。

#### (3) 教育普及事業

教育普及事業は、生き物や環境などについて、誰もが気軽に楽しみながら学ぶことができる活動を展開するため、展示物及び設備や人材の活用を図り、館内外で解説・レクチャー・自然教室などの活動を進めた。

また、ホームページや機関誌を通して水族館に関連した各種情報の提供に努めるとともに、学校等からの要請により、自然観察会や講演会等への講師派遣の他、移動教室を開催した。さらに、教育機関からの実習、職場体験学習等、各種団体等の研修の受入れを行うとともに、生涯学習施設としてボランティア活動支援を行った。

##### ア 発見体験学習

生き物や自然環境、水族館に対する理解を促すため「自然体験塾」や会員制教室「アクアバル」、「さかなの絵コンクール」等の事業を実施した。

##### (発見体験学習内容)

	名 称	対象者・参加(応募)者数
自然体験塾	生き物飼育体験（海獣編）	制限なし・12(29)名
	水族館ナイトキャンプ（7回実施）	制限なし・298(1,367)名
	バッコ釣りにチャレンジ	制限なし・33(69)名
	磯の生き物大探検	制限なし・19(52)名
	カニ探検隊	制限なし・23(52)名
	船から探る大洗の海（2回実施）	小中学生と保護者・47(93)名
	海辺の生き物大探検	制限なし・38(136)名
	那珂川中流大探検	制限なし・10(35)名
	缶詰づくりにチャレンジ	小学4～6年生・19(32)名
	サメ探検隊	制限なし・16(92)名
	サメのからだの秘密	中学生以上・6(11)名
	イルカのふしげ	制限なし・14(99)名
	ペンギンのたまごでアート	制限なし・12(49)名
	イルカトレーナー入門	中学生以上・11(25)名

(発見体験学習内容)

	名 称	対象者・参加(応募)者数
自然体験塾	カムバッカサーモン（2回シリーズ）	小・中学生と保護者(2回とも参加できる方)・28(32)名
	生き物飼育体験（魚類編）（2回実施）	制限なし・25(65)名
	かまぼこづくりにチャレンジ	小・中学生と保護者・26(30)名
	シラスの中の小さな生き物	制限なし・13(30)名
アクアパーク	クラゲのふしぎ	制限なし・13(69)名
	水族館ナイトキャンプ	会員家族・14(14)名
	シラス漁にチャレンジ	会員家族・11(11)名
	真珠でアクセサリーづくり	会員家族・9(9)名
さかなの絵コンクール（対象：小学生） 写生会を10月に2日間、11月に2日間開催。12月10日～1月14日に館内展示。 12月14日に表彰式を開催。（参加244名・入賞11人）		
絵てがみ展（対象：制限なし） 旬の食べ物や行事、花や生き物などの季節や自然をテーマにした作品展の開催。毎月の優秀作品を選考して館内に展示。通年。（応募91点）		

イ レクチャー及び展示解説

展示生物や自然・環境に対する理解を深めてもらうために、入館者を対象に展示生物の生態等に関する解説サービスとして各種ショープログラムを実施した。

(レクチャー及び展示解説内容)

名 称	内 容
なるほど魚っちんぐ	新規作成したテーマ、「チンアナゴのなるほどチン百景！！」、「アシカ VS アザラシ 海-1グランプリ」、「ふしぎがいっぱい！カニってなんだカニ！？」を中心に、以前から行っているテーマも含めてランダムに実施。通年4回／日実施。（ゴールデンウィーク、夏休期間など繁忙期は5～6回／日） 参加者数 29,011名
アクアウォッチング	イベントごとに特別バージョン実施（夏休み・ハロウイン・クリスマス）。通年4回／日実施。 参加者数 130,549名
お食事タイム	エトピリカ： 2回／日 参加者数 22,443名 ゴマフアザラシ：2回／日 参加者数 19,064名 ラッコ：3回／日（営業時間延長時は4回／日） 参加者数 40,106名 フンボルトペンギン：3回／日 参加者数 84,492名 (11月1日から平成25年5月6日までの予定で、1回目はペンギンのお散歩を実施。) カリフォルニアアシカ：1回／日 参加者数 17,239名 カピバラ：1回／日 参加者数 17,894名
水族館探検ツアー	3回／日実施。 参加者数 13,554名

#### ウ コンピューター情報運用管理

ホームページはコンテンツ検索利便性向上のため、スマートフォンサイトを新たに制作するとともに随時新たな情報の更新に努めた。また、ホームページのアクセス解析により閲覧者の動向分析やPR効果を評価し、さらに有効な広報媒体作りを行った。ホームページへの平成25年度アクセス件数は、合計1,228,149件（昨年度848,544件）、1日平均3,365件（昨年度2,325件）であった。

#### エ ボランティア活動支援

生涯学習の一環として、ボランティア活動の支援を行った。毎月1回役員会を開催し、要望の集約、活動課題、研修計画等の検討・整理を進めた。随時募集にて登録した新規ボランティアは8名。平成26年3月31日現在のボランティア登録者は90名であった。

##### （ボランティア活動内容）

期日	内 容	参加人数
6月23日	「総会」を開催し、新役員の選出及び感謝状授与、年間活動内容報告を行う。また、内部講師による講話及びワークショップ（ストラップ、ストロー工作など）を実施。	65名
10月20日・24日	全体研修を「アクアマリンふくしま」で実施。	50名
11月2日～4日	館内で第6回活動発表会「マンボラフェスタ2013」を開催。	延べ32名
年度内	自然体験塾「生き物飼育体験（海獣編）」ほか計18回のプログラムに支援参加。	延べ25名
年度内	5階バックヤードにおいて、ミニ探検ツアーを計158回実施。	入館者参加 計1,351名
ボランティア役員会議12回実施		年間活動者数 延べ1,910名／9,519時間

#### オ 機関誌「Sea遊」の発行

水生生物等への理解促進を支援するとともに、水族館のイメージアップ、広報を図るため、展示生物の興味深い生態やトピックス等様々な情報を紹介する機関誌を年2回（第24・25号）発行し、県内の教育機関等へ配付した。

#### カ 企画展

常設展では表現できないテーマを取り上げて、生物や自然環境についての理解を促進するため、企画展を実施した。また、平成27年度～29年度企画展テーマの検討を行った。

##### （企画展の内容）

名 称	内 容	開催期間
第21回企画展 「クジラいるか？ ～来て・見て・感じる 鯨類の魅力～」	期間中は毎週土曜日にアクアホールで「イルカとあそぼう」、また、特別イベントとして銚子沖で「野生のスナメリに会いにいこう」を実施した。	平成25年 1月19日 ～5月6日

名 称	内 容	開催期間
第22回企画展 「カニマニア王国 ～そこはカニの仲間の棲ま う場所～」	2月～4月の第2・4土曜日には、「君 もカニ博士！カニマニアクイズ」を実施。 4月5日に企画展付帯事業「カニ講座」 を実施。	平成26年 1月18日 ～5月11日

キ 深海シアター、海の生き物科学館及びお魚発見教室展示機器等の運用管理

お魚発見教室遊具のイソギンチャク触手を全面交換した。また、各アイテムの適正な展示機能を確保するため、隨時、生物の補充や散発的に発生した動作不良、部品交換等の各種不具合の迅速な解消に努めた。その他、将来の展示物更新のために資料を収集した。

ク 自然教室等への講師派遣

教育機関等の各種要請に応じ、水生生物や環境等をテーマとして各種館外活動を行った。

名 称	対 象	内 容	参加者数
自然観察会 ・講演会等	熊谷市磯観察会ほか 34団体	学校主催の磯観察会における生物の観察、採集方法や生物の特徴等解説等。	2,085名
移動教室等	茨城県立こども病院 ほか20団体	生物に興味を持つてもらうため、無脊椎動物や剥製へのタッピングを実施。	10,915名

ケ 研修会等の受入れ

教育機関や団体からの要請に応じて、水生生物や飼育設備等をテーマとして各種館内活動を行った。

名 称	対 象	内 容	参加者数
バックヤード見学	水戸一高ほか 51団体	大型水槽裏側を中心とした飼育設備の概要説明と飼育解説。	2,074名
館内レクチャー ・講話等	東京海洋大学、 ほか4団体	総合学習等、生き物や飼育に関する講話やインタビューに対応。	77名
夜の水族館	だいご小学校 ほか9団体	照明を消した館内で、昼間と異なる生物の生態観察の場を提供。	521名

コ 実習生等の受入れ

博物館相当施設として社会教育機能の役割を果たすため、実習生等を受け入れた。

名 称	対 象	内 容	参加者数
学芸員・飼育実習	東京海洋大学 ほか20件	大学・専門学校の単位取得を目的とした実習生の受入れ。	27名
職場体験学習	水戸第二中学 校ほか16件	中学・高校生の将来の職業選択や勤労の意義を学ぶ場としての機会を提供。	62名
インターンシップ	茨城県立那珂 湊高等学校ほか6件	高校生・大学生の就業意識の向上や新たな学習意欲を喚起するための機会を提供。	11名

#### (4) 交流・連携事業

茨城県をはじめ栃木県・埼玉県・千葉県・福島県の135市町村の教育委員会と連携をとり、主に小学校へイベントチラシや水族館パンフレット等の配布を行い、情報発信及び誘客促進に努めた。

前年度から話題となったイルカとアシカによる「愛のランデバー」の高い人気を背景に、新しいパフォーマンスなどについて積極的な情報発信につとめた結果、新聞社等の取材が続き、主要テレビ局の高視聴率番組やドラマ収録等で利用され高い広報効果につながった。

また、親子で楽しめる内容として夏の特別イベント「ウルトラアクアワールド」を開催し夏休み期間として記録的な入場者数を確保することができた。また、ガールズ&パンツァー×アクアワールドなどの各種催事や、14回の移動水族館を実施し誘客を図った。

さらに、夏休みの前後に、北関東自動車道沿いの栃木県、埼玉県の大型集客施設で実施した「移動水族館」や「観光キャンペーン」により、個人や団体への誘客促進につながる結果となった。さらに昨年度より実施した「お年玉企画・元日半額割引」も好評で、入館者数および入場者収入も前年度を上回る実績となった。

営業活動では、団体誘客のため継続して「期間限定商品」や「魅力ある水族館生物情報」の提供などで観光業者への営業訪問を積極的に行ない、「スカイツリーとアクアワールド大洗水族館」といった宮城県や山形県など遠方からの募集型バスツアーによる集客につながる成果を上げることができた。また、茨城空港利用促進支援として「半券提示による半額割引」を継続するとともに、小中学生学校行事を対象とした広報周知に対応し茨城空港利用促進支援を実施した。

事業連携では、茨城・栃木・群馬・福島4県の動物園水族館7園館「ファイト7」による各園館スタンプラリーと連携キャンペーンの実施、また大洗町とひたちなか市を結ぶ「三浜地域大型集客施設連携協議会」や「国営ひたち海浜公園との事業“花海廊”」等を実施し、広く地域連携による誘客促進も併せて実施した。

#### ア 広報実績

テレビ収録や新聞等取材に積極的に対応し魅力ある水族館を紹介した。

広報媒体等	有料広報	無料広報	計
新聞掲載	41件	167件	208件
タウン誌	21件	36件	57件
情報誌	26件	75件	101件
広報誌	13件	9件	22件
テレビ	37件	63件	100件
ラジオ	9件	9件	18件
Web	17件	38件	55件
その他	10件	6件	16件
合 計	174件	403件	577件

#### イ 記念式典事業

開館以来の節目となる式典開催と関連催事を実施した。

年間入場者100万人達成セレモニー 3月4日（火） 338日目

#### ウ アンケート調査の実施

(ア) 毎月第4日曜日車輌調査、特定日調査（GW、お盆）

(イ) 毎月第4日曜日入館者調査

#### エ 催事等

##### （催事実績）

催 事 名	期 間	期間内入場者
ガールズ&パンツァーメア クアワールド	3/9(土)～6/23(日)	328,811人
開館11周年記念イベント 「ちんあなごフェスティバル」	3/16(土)～4/7(日)	87,066人
GWイベント 「ふれあい天国2013」 七タイベント	4/27(土)～5/6(月) 6/1(土)～7/7(日)	79,627人 88,488人
第38回動物愛護標語募集	7/1(月)～7/31(水)	110,502人
夏期特別イベント「ウルトラアクアワールド」	7/13(土)～9/8(日)	327,248人
サマーナイト	8/12(月)	11,913人
アクア・フォトコンテスト 2013	募集期間 6/1(土)～8/31(土) 投票期間 9/8(日)～9/30(月)	期間内入場者 393,807人
「ハロウィン in アクア ワールド 2013」	9/28(土)～10/31(木)	92,456人
「常陸国風土記と水の生き 物たち」パネル展	10/26(土)～11/24(日)	70,480人
「アクアワールドクリスマ ス2013」	11/16(土)～12/25(水)	61,182人
アシカによる「今年の漢字 二文字」	漢字募集期間 11/27(水)～12/15(日) 発表日12/29(日)12時ライブ	16,950人
年末・年始イベント	12/28(土)～1/31(月)	75,450人
開館12周年記念イベント 「ちんあなごフェスティバル」	3/1(土)～3/31(月)	97,717人

##### （特別イベント）

催 事 名	期 間	期間内入場者
夏の特別イベント	7/13(土)～9/8(日)	327,248人

催 事 名	期 間	期間内入場者
ウルトラアクアワールド		

(移動水族館実績)

催 事 名	実 施 日
ひたちなか海浜鉄道 5周年祭	4/28 (日)
ダイアモンドカップGOLF	6/1 (土) ~2 (日)
茨城県フラワーパーク	6/9 (日)
アリオ上田	6/17 (月)
イオンモール 佐野新都市	6/29 (土) ~7/7 (日)
フクダヤインターパーク 宇都宮市	7/13 (土) ~7/21 (日)
結城市民情報センター	7/28 (日)
アリオ上尾なるほど魚っちんぐ	7/28 (日) 以降毎月第4日曜日 年度内継続
水族館がやってきた	8/17 (土)
前橋けやきウォーク	8/27 (火)
大洗海の感謝祭 2013	8/31 (日) ~9/1 (月)
うまかっフェスタ	10/6 (日)
花海廊事業連携	10/12 (土) ~14 (月)
茨城を食べよう収穫祭	11/2 (土) ~3 (日)

(キャンペーン及び誘客営業の活動実績)

キャンペーン名	内 容
ファイトセブン連携キャンペーン	6/15 (土) なかがわ水遊園 7/15 (月) 大洗水族館 8/31 (土) 東京晴海 3/16 (日) かみね動物園
茨城県人会連合会懇親会	7/5 (金)
大洗公園わくわくフェスティバル	10/13 (日)
茨城県観光物産協会秋季と 春季観光キャンペーン	10/13 (日) 2/ 1 (土) ~ 2 (日) 2/22 (土) ~23 (日) 3/ 1 (土) ~ 2 (日) 3/16 (日) 3/21 (金) ~23 (日)
大洗町福祉祭り	10/20 (日)
県内外集客施設及び観光施	通年

キャンペーン名	内 容
設リーフレット等配付	
観光エージェント訪問	通年
チラシ・ポスター送付	茨城、栃木県内を中心に北関東各県及び福島県へ情報を提供した。また各県民の日の割引情報を提供して誘客促進に努めた。

## 5 収益事業2（水族館売店事業）

### [売店事業]

#### ア 物販部門

スエニアショップ「モラモラ」においては、水族館や海をテーマにした関連グッズ約200種のバラエティに富んだ品揃えで、お客様に楽しみながら利用できる賑わいのある店作りを念頭に置き、安定した収入の確保に努めた。

特に本年度は、POSシステムの更新を行い、スムーズにつり銭の対応が出来る様に改善した。

老舗菓子メーカーによるアクアワールド・大洗限定バージョンのお菓子の発売等、新規菓子商品（20種）も順調に売上を伸ばし、物販・飲食部門トータルで、歴代2位の成績を記録した。

ミュージアムショップガレオスにおいても、大人をターゲットにした商品を充実したことや昨年のショップレイアウトの改善により、売上額が伸びた。

また、モラモラ・ガレオスの照明をLED照明に交換したことにより約40%電気量を削減した。

#### イ 飲食部門

コーヒーショップ「マーメイドギャレー」においては、サメ肉のシャークナゲットやオリジナルカレーが好調に売り上げを伸ばし、売上増に寄与した。

また、閑散期対策として、マンボウパンケーキや、ハートパンケーキ等をハンドメイドで提供し、活気あふれる店舗創りに貢献した。

収益事業収入	675,009,439
支出	605,853,034
増減額	69,156,405

(売上実績)

(単位：円)

物販部門		飲食部門	
区分	売上金額	区分	売上金額
モラモラ・ガレオス	547,756,448	マーメイドギャレー	79,381,300
自動販売機	9,032,010		
合 計	556,788,458	合 計	79,381,300

(利用率)

物販部門		飲食部門	
総入場者数 (A)	1,092,837人	総入場者数 (A)	1,092,837人
利用件数 (B)	322,335件	利用件数 (B)	99,438件
利用率(B) / (A)	29.5%	利用率(B) / (A)	9.1%

※ 利用件数は、レシート発行数（総入場者のうちレジを利用した人数）

## II 決 算 報 告 書

- 正味財産増減計算書 ..... 25 ~ 26
- 正味財産増減計算書内訳表 ..... 27 ~ 28
- 貸借対照表 ..... 29 ~ 30
- 貸借対照表内訳表 ..... 31 ~ 32
- 計算書類に対する注記 ..... 33 ~ 36
- 附属明細書 ..... 37
- 財産目録 ..... 38 ~ 39

**平成25年度 公益財団法人いばらき文化振興財団正味財産増減計算書**  
 (平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増益の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産等運用益	510,000	510,000	0
基本財産等受取利息	510,000	510,000	0
② 特定資産運用益	17,273,995	16,732,383	541,612
退職給付引当資産運用益	3,277,838	3,943,002	△ 665,164
積立資産運用益	13,996,157	12,789,381	1,206,776
③ 事業収益	2,370,380,303	2,150,459,298	219,921,005
自主公演入場料収益	39,030,380	13,398,950	25,631,430
受託公演入場料収益	7,056,800	7,327,700	△ 270,900
手数料収益	14,348,953	9,545,558	4,803,395
負担金収益	2,500,000	4,100,000	△ 1,600,000
受託公演委託金収益	25,795,176	32,970,910	△ 7,175,734
文化の担い手育成事業委託金	3,000,009	10,556,463	△ 7,556,454
県民文化センター指定管理収益	179,735,000	179,735,000	0
県民文化センター利用料収益	101,733,068	83,888,513	17,844,555
自然博物館水系展示水槽	21,211,000	21,211,000	0
誘客促進事業委託金	0	21,976,277	△ 21,976,277
水族館入場料収益	1,245,403,750	1,129,723,820	115,679,930
飲食料収益	40,491,248	19,208,864	21,282,384
売店収益	657,296,040	590,190,362	67,105,678
諸収益	2,854,604	2,572,481	282,123
駐車場利用料収益	29,924,275	24,053,400	5,870,875
④ 受取補助金等	52,421,082	66,163,121	△ 13,742,039
受取財団運営費補助金	51,921,082	58,652,421	△ 6,731,339
受取助成金	500,000	7,160,000	△ 6,660,000
受取寄付金	0	350,700	△ 350,700
⑤ 雜収益	104,143,016	178,322,438	△ 74,179,422
雑収益	15,130,438	13,190,372	1,940,066
損失補填金	89,012,578	165,132,066	△ 76,119,488
⑥ 指定正味財産からの振替額	8,689,573	7,319,672	1,369,901
経常収益計(A)	2,553,417,969	2,419,506,912	133,911,057
(2) 経常費用			
① 事業費	2,445,916,407	2,364,152,634	81,763,773
文化活動団体等助成金	18,932,000	17,346,000	1,586,000
役員報酬	10,481,985	11,595,945	△ 1,113,960
給料手当	448,161,403	474,141,833	△ 25,980,430
賃金	160,440,810	152,319,167	8,121,643
福利厚生費	2,868,906	2,081,588	787,318
法定福利費	96,070,357	96,823,816	△ 753,459
報償費	5,373,012	7,923,075	△ 2,550,063
旅費交通費	4,319,200	7,323,640	△ 3,004,440
交際費	55,000	70,000	△ 15,000
消耗品費	82,452,482	78,406,891	4,045,591
燃料費	57,970,814	58,808,587	△ 837,773
会議費	1,135,112	1,389,335	△ 254,223
印刷製本費	24,266,552	23,775,771	490,781
光热水費	228,611,178	205,412,824	23,198,354
修繕費	81,588,192	58,507,574	23,080,618
飼料費	22,078,488	24,720,703	△ 2,642,215
医薬材料費	2,435,587	2,693,709	△ 258,122
賄材料費	40,132,810	31,064,763	9,068,047
通信運搬費	5,383,876	5,593,662	△ 209,786
広告料	45,027,790	47,035,454	△ 2,007,664
手数料	59,516,545	43,335,700	16,180,845
保険料	1,516,465	1,564,330	△ 47,865
委託料	437,228,018	463,546,852	△ 26,318,834
賃借料	42,643,147	38,995,546	3,647,601
工事請負費	62,957,139	14,960,269	47,996,870
原材料費	351,503,884	318,274,213	33,229,671
生物購入費	9,290,614	11,549,339	△ 2,258,725
消耗備品費	1,271,118	4,033,488	△ 2,762,370
負担金	4,498,797	4,368,523	130,274
租税公課費	37,743,013	35,534,329	2,208,684

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
退職給付費用	0	22,643,842	△ 22,643,842
雑 費	91,525	41,411	50,114
修繕工事負担金	68,962,107	65,408,700	3,553,407
県納付金	7,056,800	7,327,700	△ 270,900
減価償却費	23,851,681	25,534,055	△ 1,682,374
② 管理費	9,280,595	9,752,277	△ 471,682
役員報酬	1,155,323	1,215,397	△ 60,074
給料手当	6,267,640	6,545,408	△ 277,768
賃金	131,484	134,505	△ 3,021
福利厚生費	3,530	3,081	449
法定福利費	1,166,846	1,195,840	△ 28,994
旅費交通費	32,192	25,032	7,160
消耗品費	106,091	104,634	1,457
燃料費	2,672	3,945	△ 1,273
会議費	14,401	10,319	4,082
印刷製本費	207,585	337	207,248
医薬材料費	29	44	△ 15
通信運搬費	22,279	16,596	5,683
手数料	7,563	8,524	△ 961
委託料	67,948	134,975	△ 67,027
賃借料	37,692	29,680	8,012
消耗備品費	1,167	8,571	△ 7,404
負担金	19,992	18,044	1,948
租税公課費	2,612	2,400	212
退職給付費用	0	290,160	△ 290,160
雑費	110	50	60
減価償却費	33,439	4,735	28,704
経常費用計(B)	2,455,197,002	2,373,904,911	81,292,091
当期経常増減額(A)-(B)	98,220,967	45,602,001	52,618,966
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産受贈額	0	643,500	△ 643,500
経常外収益計(C)	0	643,500	△ 643,500
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	456,691	127,664	329,027
経常外費用計(D)	456,691	127,664	329,027
当期経常外増減額(C)-(D)	△ 456,691	515,836	△ 972,527
他会計振替額(E)	0	0	0
当期一般正味財産増減額	97,764,276	46,117,837	51,646,439
一般正味財産期首残高	1,791,547,233	1,745,429,396	46,117,837
一般正味財産期末残高	1,889,311,509	1,791,547,233	97,764,276
II 指定正味財産増減の部			
① 一般正味財産への振替額	8,689,573	△ 7,319,672	16,009,245
当期指定正味財産増減額	△ 8,689,573	△ 7,319,672	△ 1,369,901
指定正味財産期首残高	693,484,935	700,804,607	△ 7,319,672
指定正味財産期末残高	684,795,362	693,484,935	△ 8,689,573
III 正味財産期末残高	2,574,106,871	2,485,032,168	89,074,703

**平成25年度 公益財団法人いばらき文化振興財団正味財産増減計算書内訳表**  
 (平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

(単位:円)

科目 \ 区分	公益目的事業会計			収益事業会計			法人会計	合 計
	公1 文化 振 興 事 業	公2 水 族 館 事 業	小 計	収1 文 化 自 セ ン 事 タ ー	収2 水 族 館 売 店 事 業	小 計		
I 一般正味財産増減の部								
1 経常増益の部								
(1) 経常収益								
① 基本財産等運用益	107,814	402,186	510,000	0	0	0	0	510,000
② 特定資産運用益	11,330,923	2,231,855	13,562,778	189,347	279,381	468,728	3,242,489	17,273,995
③ 事業収益	362,720,880	1,266,614,750	1,629,335,630	104,874,915	636,169,758	741,044,673	0	2,370,380,303
自主公演入場料収益	39,030,380	0	39,030,380	0	0	0	0	39,030,380
受託公演入場料収益	7,056,800	0	7,056,800	0	0	0	0	7,056,800
手数料収益	14,348,953	0	14,348,953	0	0	0	0	14,348,953
負担金収益	2,500,000	0	2,500,000	0	0	0	0	2,500,000
受託公演委託金収益	25,795,176	0	25,795,176	0	0	0	0	25,795,176
文化の担い手育成事業委託金	3,000,009	0	3,000,009	0	0	0	0	3,000,009
県民文化センター指定管理収益	179,735,000	0	179,735,000	0	0	0	0	179,735,000
県民文化センター利用料収益	91,254,562	0	91,254,562	10,478,506	0	10,478,506	0	101,733,068
自然博物館水系展示水槽	0	21,211,000	21,211,000	0	0	0	0	21,211,000
誘客促進事業委託金	0	0	0	0	0	0	0	0
水族館入場料収益	0	1,245,403,750	1,245,403,750	0	0	0	0	1,245,403,750
飲食料収益	0	0	0	40,491,248	0	40,491,248	0	40,491,248
売店収益	0	0	0	21,126,282	636,169,758	657,296,040	0	657,296,040
諸収益	0	0	0	2,854,604	0	2,854,604	0	2,854,604
駐車場利用料収益	0	0	0	29,924,275	0	29,924,275	0	29,924,275
④ 受取補助金等	30,955,082	15,400,000	46,355,082	0	0	0	6,066,000	52,421,082
受取財团運営費補助金	30,455,082	15,400,000	45,855,082	0	0	0	6,066,000	51,921,082
受取助成金	500,000	0	500,000	0	0	0	0	500,000
⑤ 雑収益	2,023,175	63,559,541	65,582,716	0	38,560,300	38,560,300	0	104,143,016
雑収益	2,023,175	3,030,988	5,054,163	0	10,076,275	10,076,275	0	15,130,438
損失補填金	0	60,528,553	60,528,553	0	28,484,025	28,484,025	0	89,012,578
⑥ 指定正味財産からの振替額	8,689,573	0	8,689,573	0	0	0	0	8,689,573
経常収益計(A)	415,827,447	1,348,208,332	1,764,035,779	105,064,262	675,009,439	780,073,701	9,308,489	2,553,417,969
(2) 経常費用								
① 事業費	420,127,774	1,317,477,687	1,737,605,461	102,457,912	605,853,034	708,310,946	0	2,445,916,407
文化活動団体等助成金	18,932,000	0	18,932,000	0	0	0	0	18,932,000
役員報酬	2,738,729	6,760,678	9,499,407	0	982,578	982,578	0	10,481,985
給料手当	120,351,850	260,930,988	381,282,838	23,380,524	43,498,041	66,878,565	0	448,161,403
賃金	7,694,150	102,709,497	110,403,647	16,204,982	33,832,181	50,037,163	0	160,440,810
福利厚生費	115,908	2,100,590	2,216,498	74,398	578,010	652,408	0	2,868,906
法定福利費	20,293,404	57,476,912	77,770,316	6,145,391	12,154,650	18,300,041	0	96,070,357
報償費	4,517,141	855,871	5,373,012	0	0	0	0	5,373,012
旅費交通費	1,388,953	2,291,335	3,680,288	10,687	628,225	638,912	0	4,319,200
交際費	26,310	19,595	45,905	3,690	5,405	9,095	0	55,000
消耗品費	15,816,455	51,435,169	67,251,624	2,200,224	13,000,634	15,200,858	0	82,452,482
燃料費	3,899,971	46,731,843	50,631,814	130,921	7,208,079	7,339,000	0	57,970,814
会議費	707,655	307,192	1,014,847	35,551	84,714	120,265	0	1,135,112
印刷製本費	6,901,547	13,398,543	20,300,090	273,272	3,693,190	3,966,462	0	24,266,552
光熱水費	31,377,483	167,865,678	199,233,161	3,762,420	25,615,597	29,378,017	0	228,611,178
修繕費	24,805,785	51,038,205	75,843,990	82,309	5,661,893	5,744,202	0	81,588,192
飼料費	0	22,078,488	22,078,488	0	0	0	0	22,078,488
医薬材料費	62,930	2,367,529	2,430,459	0	5,128	5,128	0	2,435,587
賄材料費	0	0	0	12,322,838	27,809,972	40,132,810	0	40,132,810
通信運搬費	2,082,820	2,546,382	4,629,202	80,047	674,627	754,674	0	5,383,876
広告料	6,110,430	30,419,331	36,529,761	107,292	8,390,737	8,498,029	0	45,027,790
手数料	7,723,925	39,773,446	47,497,371	532,205	11,486,969	12,019,174	0	59,516,545
保険料	312,789	807,428	1,120,217	282,191	114,057	396,248	0	1,516,465
委託料	119,398,226	264,635,319	384,033,545	14,817,727	38,376,746	53,194,473	0	437,228,018
賃借料	8,944,495	23,996,517	32,941,012	3,152,130	6,550,005	9,702,135	0	42,643,147
工事請負費	0	57,780,421	57,780,421	0	5,176,718	5,176,718	0	62,957,139
原材料費	0	0	0	14,334,157	337,169,727	351,503,884	0	351,503,884
生物購入費	0	9,290,614	9,290,614	0	0	0	0	9,290,614
消耗備品費	0	761,625	761,625	299,460	210,033	509,493	0	1,271,118
負担金	667,896	2,403,161	3,071,057	67,662	1,360,078	1,427,740	0	4,498,797
租税公課費	7,139,623	22,322,905	29,462,528	2,158,649	6,121,836	8,280,485	0	37,743,013
雜費	0	71,741	71,741	0	19,784	19,784	0	91,525
修繕工事負担金	0	59,831,524	59,831,524	0	9,130,583	9,130,583	0	68,962,107
県納付金	7,056,800	0	7,056,800	0	0	0	0	7,056,800
減価償却費	1,060,499	14,479,160	15,539,659	1,999,185	6,312,837	8,312,022	0	23,851,681
② 管理費	0	0	0	0	0	0	9,280,595	9,280,595
役員報酬	0	0	0	0	0	0	1,155,323	1,155,323
給料手当	0	0	0	0	0	0	6,267,640	6,267,640
賃金	0	0	0	0	0	0	131,484	131,484
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	3,530	3,530
法定福利費	0	0	0	0	0	0	1,166,846	1,166,846
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	32,192	32,192
消耗品費	0	0	0	0	0	0	106,091	106,091

(単位:円)

科目 \ 区分	公益目的事業会計			収益事業会計			法人会計	合計
	公1 文化振興事業	公2 水族館事業	小計	収1 文化セミナー事業	収2 水族館売店事業	小計		
燃料費	0	0	0	0	0	0	2,672	2,672
会議費	0	0	0	0	0	0	14,401	14,401
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	207,585	207,585
医薬材料費	0	0	0	0	0	0	29	29
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	22,279	22,279
手数料	0	0	0	0	0	0	7,563	7,563
委託料	0	0	0	0	0	0	67,948	67,948
賃借料	0	0	0	0	0	0	37,692	37,692
消耗備品費	0	0	0	0	0	0	1,167	1,167
負担金	0	0	0	0	0	0	19,992	19,992
租税公課費	0	0	0	0	0	0	2,612	2,612
雜費	0	0	0	0	0	0	110	110
減価償却費	0	0	0	0	0	0	33,439	33,439
経常費用計(B)	420,127,774	1,317,477,687	1,737,605,461	102,457,912	605,853,034	708,310,946	9,280,595	2,455,197,002
当期経常増減額(A)-(B)	△ 4,300,327	30,730,645	26,430,318	2,606,350	69,156,405	71,762,755	27,894	98,220,967
<b>2 経常外増減の部</b>								
(1) 経常外収益								
経常外収益計(C)	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
固定資産除却損	0	420,082	420,082	0	36,608	36,608	1	456,691
経常外費用計(D)	0	420,082	420,082	0	36,608	36,608	1	456,691
当期経常外増減額(C)-(D)	0	△ 420,082	△ 420,082	0	△ 36,608	△ 36,608	△ 1	△ 456,691
他会計振替額(E)	15,165,318	19,372,280	34,537,598	△ 1,253,654	△ 33,283,944	△ 34,537,598	0	0
当期一般正味財産増減額	10,864,991	49,682,843	60,547,834	1,352,696	35,835,853	37,188,549	27,893	97,764,276
一般正味財産期首残高	136,124,891	1,353,631,621	1,489,656,512	78,820,092	223,070,629	301,890,721	0	1,791,547,233
一般正味財産期末残高	146,989,882	1,403,214,464	1,550,204,346	80,172,788	258,906,482	339,079,270	27,893	1,889,311,509
<b>II 指定正味財産増減の部</b>								
① 一般正味財産への振替額	△ 8,689,573	0	△ 8,689,573	0	0	0	0	△ 8,689,573
当期指定正味財産増減額	△ 8,689,573	0	△ 8,689,573	0	0	0	0	△ 8,689,573
指定正味財産期首残高	693,484,935	0	693,484,935	0	0	0	0	693,484,935
指定正味財産期末残高	684,795,362	0	684,795,362	0	0	0	0	684,795,362
<b>III 正味財産期末残高</b>	831,785,244	1,403,214,464	2,234,999,708	80,172,788	258,906,482	339,079,270	27,893	2,574,106,871

# 公益財団法人いばらき文化振興財団貸借対照表

(平成26年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
<b>1 流動資産</b>			
現金	48,478,201	64,865,158	△ 16,386,957
預金	331,976,337	426,053,962	△ 94,077,625
普通預金	331,927,457	418,948,898	△ 87,021,441
定期預金	48,880	7,105,064	△ 7,056,184
仮払金	3,814,075	1,718,389	2,095,686
未収金	34,101,939	50,781,706	△ 16,679,767
貯蔵品	29,972,746	27,505,590	2,467,156
流動資産合計	<b>448,343,298</b>	570,924,805	△ 122,581,507
<b>2 固定資産</b>			
(1) 基本財産等			
基本財産	30,000,000	30,000,000	0
有価証券	30,000,000	30,000,000	0
基本財産等合計	<b>30,000,000</b>	30,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	778,855,499	780,383,334	△ 1,527,835
助成事業積立資産	620,000,000	663,484,935	△ 43,484,935
文化振興事業積立資産	70,920,468	70,953,749	△ 33,281
財団振興積立資産	9,956,604	11,812,633	△ 1,856,029
施設設備修繕等積立資産	806,028,636	715,814,645	90,213,991
事業資金積立資産	219,259,207	219,586,835	△ 327,628
緊急時対応積立資産	231,073,052	250,762,814	△ 19,689,762
特定費用準備資金	137,478,362	0	137,478,362
文化活動助成事業資金	34,795,362	0	34,795,362
発電機修繕等準備資金	102,683,000	0	102,683,000
資産取得資金	167,186,906	167,343,454	△ 156,548
減価償却資産取得資金	167,186,906	167,343,454	△ 156,548
特定資産合計	<b>3,040,758,734</b>	2,880,142,399	160,616,335
(3) その他固定資産			
建物付属設備	2,733,508	2,733,508	0
建物付属設備減価償却累計額	△ 2,252,528	△ 2,160,187	△ 92,341
構築物	47,442,310	34,630,630	12,811,680
構築物減価償却累計額	△ 24,092,503	△ 23,357,986	△ 734,517
車両運搬具	2,412,200	3,943,100	△ 1,530,900
車両運搬具減価償却累計額	△ 2,412,198	△ 3,943,097	1,530,899
什器備品	186,164,046	192,402,646	△ 6,238,600
什器備品減価償却累計額	△ 149,135,425	△ 146,299,051	△ 2,836,374
リース資産	50,941,746	14,540,400	36,401,346
リース資産減価償却累計額	△ 18,680,130	△ 12,601,680	△ 6,078,450
電話加入権	307,545	307,545	0
その他固定資産合計	<b>93,428,571</b>	60,195,828	33,232,743
固定資産合計	<b>3,164,187,305</b>	2,970,338,227	193,849,078
<b>資 産 合 計</b>	<b>3,612,530,603</b>	3,541,263,032	71,267,571

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
未払金	210,272,677	244,508,695	△ 34,236,018
仮受金	17,033,940	29,400,115	△ 12,366,175
流動負債合計	227,306,617	273,908,810	△ 46,602,193
2 固定負債			
退職給付引当金	778,855,499	780,383,334	△ 1,527,835
リース債務	32,261,616	1,938,720	30,322,896
固定負債合計	811,117,115	782,322,054	28,795,061
負債合計	1,038,423,732	1,056,230,864	△ 17,807,132
<b>III 正味財産の部</b>			
1 指定正味財産			
(うち基本財産への充当額)	684,795,362	693,484,935	△ 8,689,573
(うち特定資産への充当額)	(30,000,000)	(30,000,000)	(0)
(654,795,362)	(663,484,935)	(△ 8,689,573)	
2 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	1,889,311,509	1,791,547,233	97,764,276
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(1,607,107,873)	(1,436,274,130)	(170,833,743)	
正味財産合計	2,574,106,871	2,485,032,168	89,074,703
負債及び正味財産合計	3,612,530,603	3,541,263,032	71,267,571

**公益財団法人いばらき文化振興財団貸借対照表内訳表**

(平成26年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業等会計			法人会計	内部取引 消 去	合 計
	公1 文化振興事業	公2 水族館事業	小計	収1 文化センター 自主事業	収2 水族館売店事業	小計			
<b>I 資産の部</b>									
1 流動資産									
現金	540,824	36,933,030	37,473,854	816,900	10,187,447	11,004,347	0	0	48,478,201
預金	109,456,632	87,039,988	196,496,620	31,525,181	103,727,022	135,252,203	227,514	0	331,976,337
普通預金	109,407,752	87,039,988	196,447,740	31,525,181	103,727,022	135,252,203	227,514	0	331,927,457
定期預金	48,880	0	48,880	0	0	0	0		48,880
仮払金	3,257,664	453,151	3,710,815	32,598	5,688,810	5,721,408	6,188	△ 5,624,336	3,814,075
未収金	9,810,651	20,734,221	30,544,872	500,300	3,056,767	3,557,067	0	0	34,101,939
貯蔵品	0	0	0	2,543,245	27,429,501	29,972,746	0	0	29,972,746
流動資産合計	123,065,771	145,160,390	268,226,161	35,418,224	150,089,547	185,507,771	233,702	△ 5,624,336	448,343,298
2 固定資産									
(1) 基本財産									
基本財産	6,342,000	23,658,000	30,000,000	0	0	0	0	0	30,000,000
有価証券	6,342,000	23,658,000	30,000,000	0	0	0	0	0	30,000,000
基本財産等合計	6,342,000	23,658,000	30,000,000	0	0	0	0	0	30,000,000
(2) 特定資産									
退職給付引当資産	778,855,499	0	778,855,499	0	0	0	0	0	778,855,499
助成事業積立資産	620,000,000	0	620,000,000	0	0	0	0	0	620,000,000
文化振興事業積立資産	70,920,468	0	70,920,468	0	0	0	0	0	70,920,468
財团振興積立資産	9,956,604	0	9,956,604	0	0	0	0	0	9,956,604
施設設備修繕等積立資産	0	677,945,853	677,945,853	0	128,082,783	128,082,783	0	0	806,028,636
事業資金積立資産	0	195,507,072	195,507,072	23,752,135	0	23,752,135	0		219,259,207
緊急待避基金積立資産	0	222,077,412	222,077,412	8,995,640	0	8,995,640	0	0	231,073,052
特定費用準備資金	34,795,362	102,683,000	137,478,362	0	0	0	0	0	137,478,362
文化活動助成事業資金	34,795,362	0	34,795,362	0	0	0	0	0	34,795,362
発電機修繕等準備資金	0	102,683,000	102,683,000	0	0	0	0	0	102,683,000
資産取得資金	6,121,144	124,722,983	130,844,127	15,792,096	20,550,683	36,342,779	0	0	167,186,906
減価償却資産取得資金	6,121,144	124,722,983	130,844,127	15,792,096	20,550,683	36,342,779	0		167,186,906
特定資産合計	1,520,649,077	1,322,936,320	2,843,585,397	48,539,871	148,633,466	197,173,337	0	0	3,040,758,734
(3) その他固定資産									
建物付属設備	0	0	0	2,733,508	0	2,733,508	0	0	2,733,508
建物付属設備減価償却累計額	0	0	0	△ 2,252,528	0	△ 2,252,528	0	0	△ 2,252,528
構築物	0	30,625,320	30,625,320	7,469,761	9,347,229	16,816,990	0	0	47,442,310
構築物減価償却累計額	0	△ 13,885,229	△ 13,885,229	△ 5,906,070	△ 4,301,204	△ 10,207,274	0	0	△ 24,092,503
車両運搬具	0	1,184,120	1,184,120	1,228,080	0	1,228,080	0	0	2,412,200
車両運搬具減価償却累計額	0	△ 1,184,119	△ 1,184,119	△ 1,228,079	0	△ 1,228,079	0	0	△ 2,412,198
什器備品	3,981,547	153,391,539	157,373,086	10,929,030	17,642,939	28,571,969	218,991	0	186,164,046
什器備品減価償却累計額	△ 3,810,021	△ 124,731,208	△ 128,541,229	△ 9,309,149	△ 11,075,487	△ 20,384,636	△ 209,560	0	△ 149,135,425
リース資産	7,278,052	11,496,480	18,774,532	1,321,459	30,567,360	31,888,819	278,395	0	50,941,746
リース資産減価償却累計額	△ 959,658	△ 1,644,096	△ 2,603,754	△ 194,695	△ 15,853,272	△ 16,047,967	△ 28,409	0	△ 18,680,130
電話加入権	307,545	0	307,545	0	0	0	0	0	307,545
その他固定資産合計	6,797,465	55,252,807	62,050,272	4,791,317	26,327,565	31,118,882	259,417	0	93,428,571
固定資産合計	1,533,788,542	1,401,847,127	2,935,635,669	53,331,188	174,961,031	228,292,219	259,417	0	3,164,187,305
<b>資 产 合 计</b>	<b>1,656,854,313</b>	<b>1,547,007,517</b>	<b>3,203,861,830</b>	<b>88,749,412</b>	<b>325,050,578</b>	<b>413,799,990</b>	<b>493,119</b>	<b>△ 5,624,336</b>	<b>3,612,530,603</b>

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業等会計			法人会計	内部取引 消 去	合 計
	公1 文化振興事業	公2 水族館事業	小計	収1 文化センター 自主事業	収2 水族館売店事業	小計			
II 負債の部									
1 流動負債									
未払金	19,499,669	133,270,417	152,770,086	5,857,343	51,430,008	57,287,351	215,240	0	210,272,677
仮受金	20,395,507	670,252	21,065,759	1,592,517	0	1,592,517	0	△ 5,624,336	17,033,940
流動負債合計	39,895,176	133,940,669	173,835,845	7,449,860	51,430,008	58,879,868	215,240	△ 5,624,336	227,306,617
2 固定負債									
退職給付引当金	778,855,499	0	778,855,499	0	0	0	0	0	778,855,499
リース債務	6,318,394	9,852,384	16,170,778	1,126,764	14,714,088	15,840,852	249,986		32,261,616
固定負債合計	785,173,893	9,852,384	795,026,277	1,126,764	14,714,088	15,840,852	249,986	0	811,117,115
負 債 合 計	825,069,069	143,793,053	968,862,122	8,576,624	66,144,096	74,720,720	465,226	△ 5,624,336	1,038,423,732
III 正味財産の部									
1 指定正味財産	661,137,362	23,658,000	684,795,362	0	0	0	0	0	684,795,362
(うち基本財産への充当額)	(6,342,000)	(23,658,000)	(30,000,000)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(30,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(654,795,362)	(0)	(654,795,362)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(654,795,362)
2 一般正味財産	170,647,882	1,379,556,464	1,550,204,346	80,172,788	258,906,482	339,079,270	27,893	0	1,889,311,509
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(86,998,216)	(1,322,936,320)	(1,409,934,536)	(48,539,871)	(148,633,466)	(197,173,337)	(0)	(0)	(1,607,107,873)
正味財産合計	831,785,244	1,403,214,464	2,234,999,708	80,172,788	258,906,482	339,079,270	27,893	0	2,574,106,871
負債及び正味財産合計	1,656,854,313	1,547,007,517	3,203,861,830	88,749,412	325,050,578	413,799,990	493,119	△ 5,624,336	3,612,530,603

(注) 特定資産の財政調整積立資産を緊急時対応積立資産(網掛け)に名称を変更するとともに、限度額の見直しを行ったことにより、公2(水族館事業)の残高が限度額を超えたため、施設設備修繕等積立資産(網掛け)～21,000千円を区分変更する。(緊急時対応積立資産 → 施設設備修繕等積立資産)

## 計算書類に対する注記

### 1 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法について

有価証券は取得額をもって計上しているが、取得額が債券金額より低い価額又は高い価額の場合には、償却原価法（定額法）にて処理している。

#### (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法について

棚卸資産の評価基準及び評価方法は、先入先出法による原価基準を採用している。

#### (3) 固定資産の減価償却について

##### ① 固定資産の減価償却は、定率法によっている。

（会計方針の変更）

法人税法の改正（（所得税法等の一部を改正する法律平成19年3月30日法律第6号）及び（法人税法施行令の一部を改正する政令平成19年3月30日政令第83号）に伴い、平成19年4月1日以降に取得したものについては、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しているが、これに伴う影響は軽微である。

（追加情報）

法人税法の改正に伴い、平成19年3月31日以前に取得した資産については、その残存簿価を償却可能限度額に達した事業年度の翌事業年度以後5年間で備忘価額まで均等償却を行う方法によっているが、これに伴う影響は軽微である。

#### ② リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

#### (4) 退職給付引当金の計上基準について

勧奨及び自己都合による退職金要支給額を計上する。（100%計上済み。）

#### (5) リース取引の会計処理について

##### ① 所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース資産の内容

車両運搬具、什器備品

##### ② リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額

リース資産(4件)	
取得価額相当額	50,941,746
減価償却累計額相当額	18,680,130
期末残高相当額	32,261,616

（イ）未経過リース料期末残高相当額

	1年以内	1年超	合計
取得価額相当額	0	32,261,616	32,261,616

（ウ）当期の支払リース料、減価償却費相当額

支払リース料	6,078,450
減価償却費相当額	6,078,450

（エ）減価償却費相当額の算定方法は、定額法によっている。

#### (6) 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は、税込方式によっております。

### 2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

#### (1) 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

単位：円

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
有価証券(金銭消費貸借契約)	30,000,000	0	0	30,000,000
小 計	30,000,000	0	0	30,000,000

特定資産				
退職給付引当資産	780,383,334	0	1,527,835	778,855,499
助成事業積立資産	620,000,000	0	0	620,000,000
文化振興事業積立資産	70,953,749	481,127	514,408	70,920,468
財団振興積立資産	11,812,633	5,489	1,861,518	9,956,604
施設設備修繕等積立資産	715,814,645	70,000,000	786,009	785,028,636
事業資金積立資産	219,586,835	0	327,628	219,259,207
緊急時対応積立資産	250,762,814	1,310,238	0	252,073,052
文化活動助成事業資金	43,484,935	0	8,689,573	34,795,362
発電機修繕等準備資金	0	102,683,000	0	102,683,000
減価償却資産取得資金	167,343,454	465	157,013	167,186,906
小計	2,880,142,399	174,480,319	13,863,984	3,040,758,734
合計	2,910,142,399	174,480,319	13,863,984	3,070,758,734

(2) 特定資産の一部について、区分の変更を次のとおり実施した。

単位：円

科 目	変更前当期末残高	増加額	減少額	変更後当期末残高
特定資産				
緊急時対応積立資産	252,073,052	0	21,000,000	231,073,052
施設設備修繕等積立資産	785,028,636	21,000,000	0	806,028,636
合 計	1,037,101,688	21,000,000	21,000,000	1,037,101,688

### 3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

単位：円

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
有価証券(金銭消費貸借契約)	30,000,000	(30,000,000)	—	—
小計	30,000,000	(30,000,000)	—	—
特定資産				
退職給付引当資産	778,855,499	—	(778,855,499)	(778,855,499)
助成事業積立資産	620,000,000	(620,000,000)	—	—
文化振興事業積立資産	70,920,468	—	(70,920,468)	—
財団振興積立資産	9,956,604	—	(9,956,604)	—
施設設備修繕等積立資産	806,028,636	—	(806,028,636)	—
事業資金積立資産	219,259,207	—	(219,259,207)	—
緊急時対応積立資産	231,073,052	—	(231,073,052)	—
文化活動助成事業資金	34,795,362	(34,795,362)	—	—
発電機修繕等準備資金	102,683,000	—	(102,683,000)	—
減価償却資産取得資金	167,186,906	—	(167,186,906)	—
小計	3,040,758,734	(654,795,362)	(2,385,963,372)	(778,855,499)
合計	3,070,758,734	(684,795,362)	(2,385,963,372)	(778,855,499)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

単位：円

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
(建物付属設備)	(2,733,508)	(2,252,528)	(480,980)
建物付属設備	2,733,508	2,252,528	480,980
(構築物)	(47,442,310)	(24,092,503)	(23,349,807)
構築物	47,442,310	24,092,503	23,349,807
(車両運搬具)	(2,412,200)	(2,412,198)	(2)
車両運搬具	2,412,200	2,412,198	2
(什器備品)	(186,164,046)	(149,135,425)	(37,028,621)
什器備品	186,164,046	149,135,425	37,028,621
(電話加入権)	(307,545)	(0)	(307,545)
電話加入権	307,545	0	307,545
(リース資産)	(50,941,746)	(18,680,130)	(32,261,616)
リース資産	50,941,746	18,680,130	32,261,616
合 計	290,001,355	196,572,784	93,428,571

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

単位：円

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
(退職給付引当資産)	(600,972,335)	(601,703,400)	(731,065)
第331回利付国債	99,983,709	100,027,000	43,291
平成25年度茨城県第1回公募公債	149,947,000	150,554,400	607,400
平成23年度第7回北海道公募公債	100,537,500	100,510,000	△ 27,500
第86回大阪府公募公債	149,845,170	149,955,000	109,830
京都市平成16年あ号公債	100,658,956	100,657,000	△ 1,956
(文化振興事業積立資産)	(60,297,124)	(60,168,000)	(△ 129,124)
第21-1回あいち県民債	10,025,333	10,018,000	△ 7,333
福岡県平成22年度第7回公募公債	50,271,791	50,150,000	△ 121,791
(文化活動助成事業資金)	(30,089,550)	(30,075,000)	(△ 14,550)
第19回兵庫県民債	10,030,600	10,011,000	△ 19,600
第92回利付国債	20,058,950	20,064,000	5,050
(減価償却資産取得資金)	(140,122,394)	(140,091,000)	(△ 31,394)
第19回兵庫県民債	10,030,700	10,011,000	△ 19,700
第92回利付国債	50,148,114	50,160,000	11,886
第6回札幌市債	40,000,000	40,000,000	0
第101回大阪府公募公債	39,943,580	39,920,000	△ 23,580
(事業資金積立資産)	(209,911,838)	(209,911,000)	(△ 838)
第85回利付国債	20,061,400	20,060,000	△ 1,400
第19回兵庫県民債	40,100,174	40,080,000	△ 20,174
第101回大阪府公募公債	49,915,467	49,971,000	55,533
第101回大阪府公募公債	99,834,797	99,800,000	△ 34,797
(施設設備修繕等積立資産)	(581,521,144)	(581,814,000)	(292,856)
第64回大阪府公募公債	200,905,000	201,038,000	133,000
第320回利付国債	200,001,044	200,020,000	18,956
第92回利付国債	80,237,600	80,256,000	18,400
第100回利付国債	100,377,500	100,500,000	122,500
(緊急時対応積立資産)	(199,708,238)	(199,659,700)	(△ 48,538)
第101回大阪府公募公債	99,835,763	99,800,000	△ 35,763
第101回大阪府公募公債	99,872,475	99,859,700	△ 12,775
合 計	1,822,622,623	1,823,422,100	799,477

6 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

単位：円

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金 財団運営費補助金	茨城県	0	51,921,082	51,921,082	0	一般正味財産
合 計		0	51,921,082	51,921,082	0	

7 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

単位：円

内 容	金 額
経常外収益への振替額	
文化活動助成事業資金取崩額分一般正味財産への振替額	△ 8,576,223
合 計	△ 8,576,223

8 引当金の明細

単位：円

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当預金	780,383,334	0	0	1,527,835	778,855,499

## 附属明細書

### 1 基本財産財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、計算書類に対する注記2、基本財産及び特定資産の増減及びその残高に記載のとおりであります。

### 2 引当金の明細

引当金の明細は、計算書類に対する注記8、引当金の明細に記載のとおりであります。

**財産目録**  
平成26年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金 預金	手元保管  普通預金 常陽銀行県庁支店 常陽銀行大洗支店 定期預金 筑波銀行泉町支店	年度末売上金及び運転資金として	48,478,201 (331,976,337)
	仮払金	事業に係る立替 他		111,139,162 220,788,295
	未収金	事業に係る未収額 他	旅行観光券払戻金立替分 他	48,880 3,814,075
	貯蔵品	レストラン、売店商品	入場料収入、県委託金収入 他	34,101,939
			翌年度事業に供する貯蔵品	29,972,746
	流動資産合計			448,343,298
(固定資産)				
基本財産	基本財産	有価証券(茨城県債)	公益目的保有財産であり、運用益を全て公益目的事業の財源として使用している	30,000,000
特定資産	退職給付引当資産	普通預金 常陽銀行県庁支店 定期預金 常陽銀行県庁支店 有価証券 国債、茨城県債他	職員に対する退職金の支給に備えるため	<3,040,758,734) (778,855,499) 1,883,164
	助成事業積立資産	有価証券(茨城県債)		176,000,000
	文化振興事業積立資産	普通預金 常陽銀行県庁支店 有価証券 あいち県民債他	公益目的保有財産であり、運用益を全て文化活動への助成事業の財源として使用している	600,972,335 620,000,000 (70,920,468) 10,623,344
	財団振興積立資産	定期預金等 筑波銀行泉町支店	公1の公演事業に活用するための資金	60,297,124 9,956,604
	施設設備修繕等積立資産	普通預金 常陽銀行県庁支店 定期預金 常陽銀行県庁支店 有価証券 国債、大阪府債	公1の財団振興事業に活用するための資金	(806,028,636) 83,507,492
	事業資金積立資産	定期預金等 筑波銀行泉町支店	公2及び収2の水族館に係る施設設備の修繕等に活用するための資金	141,000,000 581,521,144
	緊急時対応積立資産	普通預金 常陽銀行県庁支店 有価証券 国債、兵庫県民債他	公2の水族館に係る展示替え等に活用するための資金 収1のセンター自主事業に係る整備等に活用するための資金	(219,259,207) 9,347,369 209,911,838
	特定費用準備資金 文化活動助成事業資金	普通預金 常陽銀行県庁支店 定期預金 常陽銀行県庁支店 有価証券 大阪府債	公2の水族館に係る緊急時の事業継続等に活用するための資金 収1のセンター自主事業に係る事業継続等に活用するための資金	(231,073,052) 12,364,814 19,000,000 199,708,238
		普通預金 常陽銀行県庁支店 有価証券 国債、兵庫県民債	文化活動への助成事業のため特定費用準備資金として管理されている資金	[137,478,362] (34,795,362) 4,705,812 30,089,550

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
その他固定資産	発電機修繕等準備資金	普通預金 常陽銀行県庁支店	平成28年度に計画している水族館の発電機修繕等のため、特定費用準備資金として管理されている資金	(102,683,000) 102,683,000
	資産取得資金 減価償却資産取得資金	普通預金 常陽銀行県庁支店 有価証券 国債、兵庫県民債他	法人運営に必要な固定資産の更新等のため、資産取得資金として管理されている資金	[167,186,906] (167,186,906) 27,064,512 140,122,394 (93,428,571) 480,980
	建物付属設備	水戸市千波町東久保697 グリル風除室 他	公益目的事業に必要な収益事業の用に供している	23,349,807
	構築物	水戸市千波町東久保697 他 駐車場案内表示板 他	公益目的事業の用に供している他、公益目的事業に必要な収益事業の用に供している	2
	車両運搬具	水戸市千波町東久保697 他 乗用自動車 2台	公益目的事業の用に供している他、公益目的事業に必要な収益事業の用に供している	37,028,621
	什器備品	水戸市千波町後川745 他 金庫 他	公益目的事業の用に供している他、公益目的事業に必要な収益事業の用に供している	32,261,616
	リース資産	水戸市千波町後川745 他 会計システム 他	公益目的事業の用に供している他、公益目的事業に必要な収益事業の用に供している	307,545
	電話加入権	水戸市千波町後川745	公益目的事業の用に供している	
	固定資産合計			3,164,187,305
資産合計				3,612,530,603
(流動負債)	未払金	事業に係る未払額 他	文化活動団体への助成金未払い 他	210,272,677
	仮受金	事業に係る仮受額 他	県補助金精算額の仮受 他	17,033,940
流動負債合計				227,306,617
(固定負債)	退職給付引当金	職員に対するもの	職員に対する退職金の支給に備えたもの	778,855,499
	リース債務	水戸市千波町後川745 他 会計システム 他	公益目的事業の用に供している他、公益目的事業に必要な収益事業の用に供している	32,261,616
固定負債合計				811,117,115
負債合計				1,038,423,732
正味財産				2,574,106,871